

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	緑内障患者における視野及び OCT 網膜内層構造と視覚の質 (QOV) の関係
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>2019年4月1日から2026年12月31日の間に、新潟大学眼科外来を受診して、光干渉断層計 (OCT)、光干渉断層血管撮影 (OCTA) 検査及び、視覚の質 (QOV) に関するアンケートを行った緑内障患者さん。</p> <p>研究責任者：赤木忠道</p>	
③概要	
<p>緑内障患者さんの網膜の神経の状態や網膜血管の状態を評価する方法として、OCT、OCTA) という検査があります。QOV を評価する方法としては VFQ-25 というアンケート調査があります。今回の研究は、OCT や OCTA で得られる網膜構造、視野検査、QOV の関係 (視野検査の結果が悪い患者さんは、QOV も低下しているのかどうか。OCT の検査結果が悪い患者さんは QOV も低下しているのかどうか) を明らかにするものです。</p>	
④申請番号	2019-0055
⑤研究の目的・意義	OCT で得られる網膜内層構造と視野及び QOV の関係を明らかにすることを目的とする。生涯にわたって QOV を保つという緑内障治療の目的を達するための手掛かりとなることが期待される。
⑥研究期間	2019年4月1日から2027年3月31日
⑦情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	上記の検査は通常の眼科診療として行われている検査であり、複数回施行することもあります。その結果は従来通り診療録に記載し、研究に必要なデータを選んで使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、緑内障病型、視力、視野、OCT、VFQ-25 などの検査所見結果
⑨利用の範囲	新潟大学 眼科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学眼科 准教授 赤木忠道
⑪お問い合わせ先	新潟大学眼科 飯川龍 025-227-2296